

基本目標 3 環境を守りはぐくむ人づくり



(目標とする将来像)

私たちは一人ひとりが手を取り合い、環境を守りはぐくんでいます。この素晴らしい環境を、今後も守りはぐくんでいくため、将来を担う人を育てています。

「人を育てて行動を促す」「人のつながりを育てる」の基本方針に沿って、区民、地域団体や事業者に環境教育・学習の場と機会を提供していくなど、必要な支援を推進しています。

3-1 人を育てて行動を促す

(基本方針)

日常生活や事業活動のなかに環境配慮行動を定着させるには、まず環境問題に対する人々の関心を高め、取組みに対する参加意欲を引き出していくことが大切です。

環境配慮に対する共通理解を深め、自発的な行動を促すような環境学習活動の推進、環境学習の積み重ねによる人材育成への取組みを進めます。

<環境指標の評価>

指標項目の評価

◎：最終目標値を達成している指標項目

△：最終目標値を達成していないが、目標値に近づいている指標項目

▽：最終目標値を達成しておらず、目標値に近づいていない指標項目

—：環境指標の設定、現状値を把握していない指標項目

環境指標項目	基準年度	基準年度末時点実績値	平成23年度末時点実績値	数値目標	評価
環境学習公募事業の実施 (P.61 参照)	17	—	2件	毎年度、5件以内	◎
人材バンク制度の創設 (P.64 参照)	17	—	準備中	制度の開発・運用実施	▽
めぐろグリーンアクションプログラム の認定・導入件数(累計) (P.75~78 参照)	18	—	63件	新たに228件	▽

【数値目標に年度の記載がないものは、平成23年度までの目標】

➤ 5年間の成果・課題

区では、平成18年3月に「目黒区環境学習推進計画」を策定し、環境学習の場の整備と機会の提供及び人材の育成・活用に取り組んできましたが、将来を担う子どもたちへの環境学習について今後も重点的に取り組む必要があります。環境配慮行動を推進するために、「めぐろグリーンアクションプログラム（普及版）」として、簡単に記入できるシートを作成し、普及に努めました。

また、環境指標のひとつに掲げた人材バンク制度の創設には至りませんでした。環境推進員（環境ナビゲーター）養成講座を継続して実施しました。その結果、多数の修了生を輩出し、区内において環境ナビゲーターによる自主的な環境保全活動が根付きつつあります。

➤ 目標の実現に向けてー平成24年度以降の取組みー

引き続き、環境学習の推進、環境情報の提供により、区民一人ひとりの環境問題に対する関心を高めます。

区民、事業者が環境に対する理解を深め、自発的に環境にやさしい行動が実践できるように、学校やエコプラザを中心に、環境教育・学習を展開します。

環境情報の発信に当たっては、区民や事業者がそれぞれのニーズに合わせた情報にアクセスできるよう、環境情報の一元化を図るとともに、近年多様化している情報発信ツールを有効活用していきます。

また、積極的に区の環境保全に関わる人材や活動団体を育成し、活躍の場を提供することで、区民の環境意識や参加意欲の向上を図ります。

3-1-1 環境教育・学習の推進

平成18年3月に策定した「目黒区環境学習推進計画」に基づき、さまざまな環境学習を推進しました。平成23年度に実施した環境に関する講座や講演会等の一部を紹介します。

◀ 環境学習の場の整備と機会の提供 ▶

環境に配慮した生活を提案するため、講演会・学習会、各種イベントを開催しました。

(目黒区立エコプラザに関しては、詳細はP.62～63参照)

講座	主な内容・テーマ
消費生活講座	廃材を利用したワークショップ・LEDのしくみを学ぶ
消費生活展	リサイクル工作、パネルの展示
めぐろシティカレッジ	「健全な環境と不健全な環境を診る、知る、学ぶ」
社会教育講座	「めぐろの身近な生きものに出会おう」 「どうなる？世界の資源エネルギー事情」 「めぐろネイチャー探検隊」 「ハイブリッドカー作ってなっとく～上手なエネルギーの使い方」 「アウトドアのススメ～やってみよう！デイキャンプ」



＜消費生活講座：LEDのしくみを学ぶ＞



＜めぐろシティカレッジ：現地見学＞

◀ 環境学習のツール（教材・道具）の充実・提供 ▶

区民が学校・町会地域などの活動で環境啓発に利用できる用品や、身近な環境を測定できる簡易な環境測定機器等の貸出しを行っています。

平成23年度は、騒音計（P.31参照）、酸性雨パックテストなどを貸し出しました。

◀ 自然体験の機会の提供 ▶

自然宿泊体験教室を実施し、興津やハケ岳といった海や山など豊かな自然に触れ合う機会を通して、自然に対する豊かな感受性や生命を尊重する心、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度を育成しています。

また豊かな自然等に触れ、農業、漁業などさまざまな体験活動を通して、学校における学習内容をより深化・発展させるとともに、主体的かつ計画的な活動を通して自ら学ぶ意欲や自主性を育成しています。



＜自然宿泊体験教室でのラジオ体操＞

平成22年度は自然宿泊体験教室と従来の移動教室事業を一部併行して実施しましたが、平成23年度からすべての小中学校で自然宿泊体験教室として実施しました。

◀ 環境学習推進計画の具体化 ▶

「目黒区環境学習推進計画」を効果的に実践するため、さまざまな立場の区民・団体・事業者等が参加しやすくなる配慮や、体験型の学習方法等を取り入れたプログラムを行いました。平成23年度は、環境学習の「モデル事業」2分野と「公募事業」2件を実施しました。

事業名	事業内容	平成23年度 認定事業（実施団体）
モデル事業	環境学習のモデルとなる事業を認定し、ホームページ等で積極的に広報を行うことで、支援する。	みどり・公園分野：公園をフィールドとした環境学習の充実 エネルギー・温暖化対策分野：チャレンジ25学習会
公募事業	環境学習と研究を支援する目的で、区から活動資金を助成する。	めぐろECOJOY 倶楽部 めぐろ米っ子クラブ

■ 「モデル事業」の紹介（平成23年度実施状況）

● みどり・公園分野：公園をフィールドとした環境学習の充実

★ 駒場野公園内環境学習施設の利用

平成23年度には、環境学習施設を4団体が使用しました。

団体名	回数
こまばりサイクルの会	77回
菅刈住区	6回
東大環境三四郎	3回
駒場住区住民会議	1回



<環境学習施設>

★ 生ごみリサイクルによる花と緑のまちづくり

平成23年度は、駒場野公園内環境学習施設を活用したイベントを、下記のとおり行いました。

イベント名	内容
緑のカーテンキャンペーン	ゴーヤの苗に堆肥をつけて配布した
駒ちゃん広場「環境リサイクル教室」	木のプランターを作成し、トマトの苗を植えた
「ふえすた環境 in 目黒 2011」におけるキャンペーン	「生ごみと落ち葉・稲ワラのリサイクル」について展示を行った。また、エコステーションを設置し、生ごみについて堆肥化した
「駒場野まつり」における環境学習施設の紹介キャンペーン	環境学習施設を公開した
環境学習施設見学会	すき返し体験やじゃがいも植付体験を行った
環境学習施設一般公開	施設を公開し、PR用に堆肥の配布を行った

● エネルギー・温暖化対策分野：チャレンジ 25 学習会

地球温暖化の理由や現状を知り、地球温暖化防止の具体的な行動を考えるため、「チャレンジ 25 学習会」を開催しました。省エネ（エコ）家電製品を提供しているメーカーの省エネ活動について話をうかがうなどの企画が年4回実施されました。



<チャレンジ 25 学習会>

■ 「公募事業」の紹介（平成 23 年度実施状況）

● めぐる ECOJOY 倶楽部

環境に関する知識や環境活動を広げる、楽しみながら自発的に環境活動を行うきっかけづくりのため、おとなの為の体験型環境講座を企画・運営しています。平成 23 年度は、山梨県西桂町と提携したエコツアーや、微生物を利用した農業体験を行いました。

● めぐる米っ子クラブ

区内の湧水の成分分析や、水温、水量、電気伝導率等の測定調査を行いました。その調査結果をもとに、周囲の環境と湧水の関係性や湧水の活用方法について考察しました。



<めぐる米っ子クラブによる湧水調査>



<めぐる ECOJOY 倶楽部による落花生収穫>

平成 24 年度に実施する主な施策の内容

- ✓ 取り組みやすく継続しやすい方法を取りながら、「家庭版めぐろグリーンアクションプログラム（普及版）」の普及を進めます。
- ✓ 「学校版めぐろグリーンアクションプログラム」により、環境学習・活動を支援していきます。
- ✓ 各小中学校において、「めぐろ学校教育プラン」に基づき自然宿泊体験教室を実施し、現地滞在型の体験学習を充実させます。
- ✓ ぶどう狩りやじゃがいも掘り等の農業体験を通じて、収穫の喜びや自然とのふれあいを体験する「収穫体験農園」を引き続き実施します。
- ✓ エコライフに関する講座・講演会を開催するとともに、包丁研ぎ講座等のリペア事業を行います。

3-1-2 環境情報の提供

◀ 環境情報の収集・整備・提供 ▶

区民向けの冊子の配布や、環境調査結果のホームページ掲載等を実施し、環境情報の提供を積極的に行いました。また、エコプラザを拠点に環境情報の発信や活動への支援を実施し、区民や事業者の自主的な活動を推進しています。

■ 環境情報の拠点

環境情報の発信・環境学習の拠点として、目黒と平町にエコプラザがあります。エコプラザでは、講座・講演会・フリーマーケット等の開催、学校への出前講座等、地球にやさしい生活を送るための支援事業を行っています。

● 目黒区立エコプラザ

エコプラザには、環境に関する図書の貸出しや各種講座参加者の作品を展示している情報室や不用品の情報を仲介する不用品情報コーナーがあります。さらに、環境問題に関心をもって活動している団体等が学習や実践の場として利用できる活動室も完備しています。





また目黒エコプラザでは、リサイクルショップや不要になった家具の再生販売を行っています。



<リサイクルショップ>



<情報室>

施設	目黒エコプラザ	平町エコプラザ
建物外観		
場所		

(管理・運営は、指定管理者としてエコライフめぐろ推進協会が行っています。)

エコライフめぐろ推進協会 (事務所：平町エコプラザ2階)

電話：03-5729-1977

ホームページ URL：http://park15.wakwak.com/~meguro.3r/

ブログもやっています！ URL：http://ecolifemeguro.blogspot.jp/



<カタツムリマーク>

エコライフめぐろ推進協会

検索

★ 講座・講演会

無理なく、楽しいエコライフスタイルを提案するため、さまざまな講座・講習会を開催しています。講座の一部は、事業者、環境活動団体等と協働で行い、子ども達の参加も増加しました。



<はじめて育てる「緑のカーテン」>

講座・講習会名	参加人数
はじめて育てる「緑のカーテン」	144人
自然エネルギー体験講座	23人
限りある資源「水」講座	75人
環境ナビゲーター ステップアップ講座	15人
子育てママのエコ入門	133人
親子エコバス見学会	31人
修理コツコツ講座	125人
リフォームファッションコンテスト	45人
「オンリーワン・バッグを作る」	418人
おもちゃの病院	44人
水辺の生き物探検隊	25人

★ 地区・学区・行政が連携した取組み

学校への環境学習支援やボランティア受入れ等を行っています。また、企業や学生と共同企画を実施しています。

環境に興味を持つきっかけづくりを目的として、親子で楽しみながら体験してもらおうイベント「キッズあつまれエコひろば！」を開催し、146人が参加しました。



<キッズあつまれエコひろば！>

平成24年度に実施する主な施策の内容

- ✓ 区民のニーズに合わせた環境情報を積極的に区のホームページに掲載します。
- ✓ エコプラザを拠点にした環境情報の発信や活動への支援を引き続き実施します。

3-1-3 人材や活動団体の育成

◀ 環境リーダーの育成 ▶

区民自身が環境保全活動のリーダーとなり、地域で活動できることが重要だと考えています。このため、区内の環境団体の活動及び環境関連事業に対する助言のほか、地域団体が実施する学習会等への講師の派遣等を行っています。また、養成講座の開催や、環境イベント等の企画支援等を担う人材を登録するための人材バンクの整備を進めています。

平成23年度は、環境推進員（環境ナビゲーター）養成講座を開催し、修了生25人を環境ナビゲーターとして認定しました（詳細は、P.8～9）。

平成24年度に実施する主な施策の内容

- ✓ 環境推進員（環境ナビゲーター）養成講座を開催し、環境ナビゲーターを養成します。

3-1-4 事業者の取組みの促進

◀ 区内における環境マネジメントシステムの導入促進 ▶

国際規格取得支援事業として、ものづくりに係る区内の中小企業が国際標準規格を取得することを支援するため、必要な費用の一部を助成しています。平成23年度は、1社に対しISO9001取得の支援を行いました。

平成24年度に実施する主な施策の内容

- ✓ 「めぐろグリーンアクションプログラム」参加事業者に対して、認定会委員による現場アドバイスなどで事業者の環境配慮行動を啓発します。

3-2 人のつながりを育てる

(基本方針)

多様な環境学習活動を促進し、環境保全の効果を上げるため、環境活動に取り組む人や団体同士の交流や連携を図り、環境活動によって結びつきを深める環境コミュニティの形成を目指します。

<環境指標の評価>

なし

> 5年間の成果・課題

広域的な環境課題を解決するためには、行政の垣根を越えてあらゆる主体の協働が重要であるという考え方のもと、平成22年度には、友好都市である宮城県角田市に「めぐろエコの森」を創設しました。

区内には多くの環境NPOが活動しており、地域の小学校を拠点に区民や団体との協働で開催してきた「ふえすた環境 in 目黒」には、毎年多数の参加がありました。

今後は若者世代や子育て世代を巻き込んだ環境コミュニティの形成や区内の環境配慮活動団体のネットワーク化が重要です。

> 目標の実現に向けてー平成24年度以降の取組みー

区内には、環境保全活動に熱心に取り組んでいる人や団体が多数、存在しています。区内には東京大学・東京工業大学等の教育研究機関もあることから、今後は区民、事業者、区のほかに大学等も含めた多面的な連携の可能性も検討していく必要があります。地域の環境保全活動をさらに活性化するため、エコプラザを拠点とした環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む人や団体同士の交流や連携を図ります。

また、各主体の協力が必要な取組みや、地域を越えた広域的な環境課題に対しては、区民・事業者・区のパートナーシップや他都市との連携により、取組みの効果を一層高めていきます。

3-2-1 地域コミュニティにおける環境保全活動の活性化

◀ 地域で実践している環境保全活動への参加促進 ▶

身の回りの環境から地球環境まで幅広く取り上げた参加・体験型のイベントである「ふえすた環境 in 目黒」を区民との協働で開催しました（詳細はP.10）。

◀ 地域団体、学校等における環境問題への取組みの促進 ▶

区内では、住区住民会議、町会・自治会、商店街等の既存のコミュニティがさまざまな身近な環境の課題やまちづくりに取り組んでいます。

■ **エコチャレンジ顕彰**

先進的な環境保全の取り組みを行っている区民・事業者・団体を「エコチャレンジ顕彰」として顕彰し、その活動を「めぐろ環境・清掃ニュース エコロめぐろ」や区ホームページで紹介しました。

＜被顕彰団体の取り組み＞

被顕彰者・団体（敬称略）	顕彰理由
安食昌彦	「めぐろグリーンアクションプログラム」の認定会委員として、環境意識の向上を図り、地域のグリーン化に貢献されました。
さーくる・ガーデン・クラブ	中日黒公園で10年間にわたり花壇の運営管理を行い、環境にやさしい園芸活動を広め、区民のみどりへの関心を高める取り組みをされました。
めぐろ ECOJOY 倶楽部	「めぐろ環境ナビゲーター養成講座」を修了された有志で結成し、環境に関する知識や経験を生かし、環境学習の推進役として、環境コミュニティの形成に尽力されました。
クラフトマン グループ	エコライフめぐろ推進協会団体として、長年、包丁の研ぎ方指導や、傘・家具の修理技術を区民に普及し、ものを大切にするライフスタイルの推進に寄与されました。
学校法人日出学園 日出中学校・日出高等学校	学園祭の収益金を区の環境保全事業に寄附され、地球温暖化対策の啓発事業として、「めぐろエコの森」の植樹活動に尽力されました。



＜エコチャレンジ顕彰式＞



＜被顕彰者同士の交流＞

平成24年度に実施する主な施策の内容

- ✓ 学校・町会・自治会・商店街等との連携を深め、環境保全の取り組みを行う団体に対する支援を行います。

3-2-2 環境保全活動のネットワーク化の推進

◀ 活動団体・事業者間の情報交流等ネットワーク化の推進 ▶

平成22年度に内容を改訂した「めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）」の取組みの普及に努めました（詳細は P.77）。また、プログラム参加事業者に対して、認定会委員による現場アドバイス等の支援を行いました。

◀ 環境情報の収集・整備・提供 ▶

■ エコプラザを拠点とする情報発信（P.62～63 参照）

エコプラザを拠点に、環境情報の発信や活動への支援を実施し、区民・事業者の自主的な活動を推進しています。

平成23年度は、エコプラザ情報室の運営により、図書・資料等の収集、閲覧、貸出し、リサイクル家具の販売、相談業務等を実施しました。また、エコプラザ会員向けに、エコプラザニュースの発行（12回）、展示コーナーにおける模型やパネルでの事業の紹介を行い、エコプラザ内の活動室は広く団体・一般に貸し出しました（延べ856件）。

■ 区のホームページへの環境情報の掲載

平成23年度は、従来の環境情報に加え、節電対策、放射線測定結果など、迅速な情報提供を行いました。

● 目黒区ホームページ「もっと知りたい環境のこと」コーナー

各種環境データ、学べる施設、講座に関する情報を随時更新しています。

トップページ > [キーワードから知る めぐろのこと] > [学ぶ] にあります。

URL : <http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>



平成24年度に実施する主な施策の内容

- ✓ 「めぐろグリーンアクションプログラム（普及版・事業所版）」の取組みを進め、環境活動に取り組むネットワーク化を推進します。
- ✓ エコプラザを拠点とする情報発信・環境活動への支援を引き続き行います。

3-2-3 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

◀ 区民・事業者との話し合いの場づくり ▶

パートナーシップを築き、協働して地域における温室効果ガスの排出削減に取り組むため、目黒区地球温暖化対策地域協議会を開催しました。平成 23 年度は、温暖化対策推進について話し合いを行いました。

◀ 区民・事業者の主体的な取組みのための仕組みづくりの推進 ▶

■ 「落書き消去活動」支援

「落書き対策事業実施要綱」を平成 17 年 12 月に制定し、落書き消去剤の貸与や、落書き消去活動団体への用具購入経費の補助を行ってきましたが、平成 21 年度からは落書き防止（コーティング塗装）経費の補助も行っています。また、地元警察主催の落書き消去活動にも協力しました。



＜地元警察主催の落書き消去活動＞

■ 「スーパーズ」支援

ボランティア清掃団体である「中目黒スーパーズ」及び「権之助・大鳥スーパーズ」の事務局として、活動状況等会員同士の情報の共有化を図るほか、清掃用具の貸出し等の支援を行いました。



＜スーパーズ 活動風景＞

■ 「めぐろ環境マネジメントシステム研究会」支援

「めぐろ環境マネジメントシステム研究会」では、区内の事業者の環境保全活動の取組みとして目黒区商工まつりでのごみゼロキャンペーンにおいて事業の主体になるとともに、「ふえすた環境 in 目黒 2011」に出展し、体験型学習を行いました。

■ 「目黒区環境を考える会」支援

毎月の定例的な活動に際し、会員へ議事録や開催通知を送付する支援を行いました。また、「ふえすた環境 in 目黒 2011」に出展し、活動を紹介しました。

◀ 「地域街づくり条例」の活用 ▶

街づくりについて身近な地域単位で話し合いの場を設け、区民が主体的かつ継続して課題解決に取り組めるしくみや進め方を定めた「目黒区地域街づくり条例」を平成19年3月に制定しました。条例に基づき、街づくりの情報提供や専門家の派遣を行う等の仕組みを整備しています。平成23年度は、地域街づくり研究会の登録が1件あり、専門家の派遣を2回行いました。

平成24年度に実施する主な施策の内容

- ✓ 落書き除去活動の支援を引き続き実施します。
- ✓ 「中目黒スーパーズ」及び「権之助・大鳥スーパーズ」の活動を支援し、併せて他地域での活動団体の発足の支援も検討します。
- ✓ 学校、住区住民会議、町会・自治会、商店街等、地域で実践している環境保全活動との連携を積極的に行っていきます。
- ✓ 「めぐろ環境マネジメントシステム研究会」のISO14001普及活動に対して、引き続き支援を行います。
- ✓ 「目黒区地域街づくり条例」の周知と活用に向けた働きかけを行います。区内の専門家組織に対し、積極的に専門家派遣のための登録の協力を求めます。

3-2-4 地域を越えた広域的な連携

◀ 区民・事業者等の広域的なネットワーク構築への支援 ▶

家庭版及び事業所版めぐろグリーンアクションプログラムを推進しています（詳細は P.76～P.78）。

